

令和2年5月1日

保護者の皆様
地域の皆様

仙台市立六郷小学校
校長 加藤 徹

臨時休業の延長を受けて(お知らせとお願い)

過日、仙台市教育委員会から5月31日までの臨時休業期間延長の指示が届きました。子供たちの健康・安全を守り、ご家族の感染拡大や学校における集団感染を防止する観点からの措置として受け止めつつも、長期間に渡って自宅で頑張っている子供たちの気持ちを考えると、胸が張り裂ける思いであります。

新型コロナウイルスは、その性質上「人のつながりを絶つウイルス」とも呼ばれています。物理的な「接触制限」と感染不安から、世の中に閉塞感や不安、不満といった負の感情が広がりつつあることを感じます。しかし、こんなときだからこそ、私たちは心理的な「つながりと信頼感」を失ってはいけないと思います。本校 PTA 会長と六郷市民センターの呼びかけによって、地域の方々から子供たちへたくさんのマスクが寄贈されました。「接触制限」の中、子供たちにしてあげられることを考え、行動してくださった多くの地域の方々の思いに、胸が熱くなるとともに、支えていただいていることに元気と活力をいただきました。

今、学校は医療従事者等、社会機能を維持するために就業継続が必要なご家庭の子供たちの受け入れ業務を行いながら、休業中の家庭学習課題作りや学校再開に向けた諸準備を進めています。また、今回の指示を受け、夏休み前までの各種行事も中止または延期の措置をとることとなりました。学校が再開されても「接触制限」は続くことが予想されます。そのような状況の中、再開された学校で子供たちが健康、安全で楽しい生活を送るためにどんなことができるのか職員全員で知恵を絞り続けています。

- | |
|---|
| <p>○今年度5月に予定していた運動会は中止します。(大規模改修工事のため延期不可)</p> <p>○今年度7月に予定していた若あゆ祭りは延期します。</p> |
|---|

ご家庭での子供たちの様子はいかがでしょうか。長期化する臨時休業の中、本校では学校再開に向けて「コロナに負けるな～つけよう四つの習慣～」というメッセージを発出しました。ここで示した四つの習慣とは「生活習慣」「学習習慣」「運動習慣」「検温・手洗い習慣」です。どれもが、持久戦となるかもしれないコロナウイルスとの戦いにおいて、子供たち自身が身に付けておくべき力、戦い抜く力となります。6月再開に向けたご家庭における「生活目標」として位置付け、子供たち自身が意識し、習慣として身に付けることができるよう働き掛けをお願いいたします。学校からは、この四つの習慣形成に必要な学習課題や資料を5月11日、12日に、各家庭に直接伺って配付する予定です。また、学校HPにも様々な資料を貼り付けておりますので、ご活用ください。

感染症専門家は、家庭内の感染リスクが最も高いということを指摘しています。お子さんの健康・安全、そして学校再開は「家族全員が元気であること」が前提です。保護者の皆様も、どうかお体をご自愛ください。また、お子さんのこと、学校のこと、御心配や御不明なことがありましたら、どうぞ気軽にご連絡ください(配付資料の中にあるアンケートも活用できます)。できることを一緒に考えていきたいと思っております。

今後、地域やご家庭、教職員に感染者が出ることも予想されます。他県では、感染者が風評や差別、偏見によって不当な被害を受けるといった事案が発生しています。本校では今後も、市や教育委員会指導のもと、迅速な情報提供と適切な対応に努めて参りますので、こうした事態が発生しないよう御理解と御協力をお願いいたします。